



問 大雨による大荒地区の排水事業について

答 河川改修期成会などを通じて県へ要望



土地改良による井堰

問

大荒校区花宗川南に対する歩道計画はどうなっているか。

町長

まず、基盤の整備・交通体系についての基本的な考え方として、現在、各小・中学校周辺の通学路の安全対策として、自歩道の整備を主要施策と位置付けし、事業の選択と集中で整備を進めている。国庫補助事業として整備している、大木中学校周辺自歩道整備事業が平成21年

度に完了予定である。

町道12号線花宗川以南の歩道計画については、以降の国庫補助事業対象地区のうち、最も優先順位が高いものと位置付けしており、花宗川から荒牟田交差点までの延長約1100mについて、平成22年度事業採択申請をする計画である。

問

大雨による大荒地区排水について、一昨年、柳川市三橋磯鳥に

太田川から沖の端川に排水ポンプ場が設置されている。水害の時には、大木町吉祥地区の一部が関係しているが、できれば三八松、中村、吉祥の西浜武線の排水活用が出来るようにならないものか伺う。

建設課長

磯鳥の排水ポンプは県営筑後東部灌漑排水事業により、受益地面積に対する容量のポンプが設置されており、ご指摘のように吉祥地区の一部は東部灌漑排水の受益地ですが、その他の地区は受益地にはなってい

ない。平常時の水位も三橋地区が高く、排水ポンプへ接続する水路も整備されてないし、活用することについては協議は行っていないが難しいと思う。

大木町は国営筑後川下流事業の受益地となっているので、国営幹線水路の整備により排水の改善がなされているが、下流地区の排水対策と花宗川へ計画通りの排水ができないなど、一部冠水している箇所がある。

なお、平成19年度西浜武線下流の制水門が完成したとこのことで、今後かなり排水改善できるのではないかとのこと。花宗川についても下流地区の改善も進んでおり、酒見堰上流の改修に向け測量などが進められている。早期改修による排水改善ができるよう、河川改修期成会等を通じて県へ要望しているところである。

問

土地改良による井堰が大木町管内に相当設置されているが、

管理者をお願いして管理費まで検討する必要があらうと思うが、町ではどう考えているのか。

建設課長

国営筑後川下流事業により主要6路線の幹線水路が整備されており、27基の制水門と約110箇所の合流口が設置されている。

制水門については、用排水操作の管理人をお願いしているが、合流口については従来からの水路管理上必要な箇所については、管理人をお願いしている。

また、土地改良区役員さんが管理されているのではないかとと思うが、合流口の閉開操作が通常時あまり必要ではない箇所も多くあり、ご指摘のように管理者をお願いしていないところがある。

国営幹線水路も下流まで整備も終わることになっており、花宗太田土木組合とも協議し、合流口の管理状況を調査していく予定にしている。その後、管理者をお願いするよう検討していきたい。